

校長先生から終業式のお話をしたいと思います。2学期のいろいろなできごとを振り返りながら、しっかりと生きてください。低学年のみなさんには、ちょっと難しい言葉も出てきますが、よくわからなかった言葉は話が終わった後に担任の先生に教えてもらってください。

8月25日から12月25日まで、4か月の2学期でした。

児童のみなさんにとっては、楽しいことばかりであつたという間でしたか？それとも、たいへんなことが多くて長く感じましたか？児童のみなさん全員が「楽しいことばかりであつたという間でした」と言ってくれたら校長先生は嬉しすぎて困ってしまうくらいですが、実際は、楽しいことばかりではなく、しんどいことをがまんして頑張ったり、辛いことや悲しいことを乗り越えたり、そんなこともあるのが学校生活だと思います。

この4か月で、きっと、背が伸びましたよね。体重も増えたかもしれません。すくすくとした「体」の成長です。それと同じように、できないことができるようになったり、わからないことがわかるようになったり、そんな「学力」もすくすくと成長していてほしいです。そして、友達の気持ちがわかったり、困っている人にやさしくしたり、そんな「温かい心」もすくすくと成長していてほしいです。

この4か月の2学期、「みんな、ほんとうによくがんばった」――校長先生は、心からそう思います。そのみんなのがんばりが、すくすくとした「学力」の成長や、すくすくとした「温かい心」の成長につながっていたらいいなと強く願います。

さて、明日から12日間の冬休みです。いつもより2日短い冬休みですが仕方ありません。

クリスマスにお正月。コロナに気をつけなければいけないので、あまり外には出歩けないかもしれないけど、それでもワクワクします。コロナに気をつけなければいけないので、毎年の冬休みよりは人に会えないかもしれないけど、それでも日ごろ会えない人に会えるのが楽しみです。冬休みのすごし方の注意は、このあと生活指導の先生からお話がありますが、校長先生からは、1つ児童のみなさんに宿題があります。それは、「長い休みの時にしかできないことをしよう」です。

例えば――毎日、5キロ走る。毎日、なわとびを500回とぶ。毎日、素振りを500回する。100ページはある長い物語を1冊読み終える。きれいに卵ふわふわなオムライスをつくってみる。大掃除を手伝ってみる。好きな曲を完ぺきに歌えるようになる、あるいは、リコーダーで吹いてみる。お父さんやお母さんにありがとうの手紙を書いてみる。――そんな、何か「やり遂げた」といえる経験を1つでいいのでしてほしいです。ただし、1日中ゲームをすとか、1日中ふとんからでないですぐとか、朝昼晩とごはんの代わりにお菓子を食べる――とかは、たしかに「長い休みの時にしかできないこと」ではあるけど、やめてくださいね。「がんばってやり遂げる何か」ですよ。そんな経験ができると、きっと新しい発見があるはずです。それが成長だと校長先生は思います。

それではみなさん、1月7日、3学期の始業式に元気に再会できることを楽しみにしています。よいお年をお迎えください。